

貴志南っ子

7月

平成28年7月1日



「いい学校ですね。」



7月に入りましたが、梅雨明けにはまだまだ時間がかかりそうです。先月、水泳指導が始まりましたが、プール開きが行われたとたん、うだるような暑さの日と、雨が降って気温が上がらず涼しすぎる日が交互で、プールに入りたくて仕方がない子どもたちは、毎日ハラハドキドキしています。また、そんな天候なせいなのか、体調がすぐれない子も多くなっているようです。水泳を楽しむためにも体調管理をしっかりとお願いします。

さて、そのプール開きの日は、折しも早朝に大雨警報が出ていたものの、8時ころには解除されて子どもたちがバタバタしていたあの日です。休校と思い込んでいた子どもたちもそろったのは9時を過ぎていました。その日は県・市教育委員会から視察に来られる日でもありました。



どうにか2時間目以降の授業ができるものの、給食カットは決まっていたので午前中のみ授業を見ていただきました。県教育委員会からは、本年度新設された教育企画監という教育長補佐的な役割を担う役職の方で、福井県教育委員会から招かれた方でした。和歌山の学力向上のために派遣されたといっても過言でない先生です。

正門でお迎えをして、校長室へ案内する途中に「なんだか明るいですねえ」のコメントを頂きました。お世辞にも新しい校舎であるわけもなく、校務員さんがさびて茶色くなった廊下の蛍光灯の枠の中を去年、白く塗り替えてくれたからか、育友会の整備作業で高い窓まで磨き上げてくれたからかと思ひながら、あいまいな返事をしただけでした。ほぼ全学級の授業の様子を見られた後、校長室でお話を伺うことになりました。

「たいへんいい学校ですね。」が開口一番でした。

プール開きの日で、しかも警報が出て登校が遅れ、きっと時間的にも子どもたちの精神的にもゆとりのない中、子どもたちがとても落ち着いて学習している。下駄箱の靴やトイレのスリッパがそろっている。朝、すれちがった子どもたちのあいさつの声、教室からもれてくる子どもの発言や歌声が明るく元気でハリのある声がいい。きっと、この学校の子どもたちは、担任だけでなくあらゆる先生に信頼をおいているのだろうと見受けられた。黒板の周りはゴテゴテ飾らず、非常にすっきりし集中しやすく、写真や絵で片付け方の方法などがわかるように工夫されているとのことでした。もちろん、授業の進め方についてはいろいろ細部にわたりご意見はいただきました。

県下のあちこちの学校を回っておられる方から、何よりも自慢の子どもたちを、学校の空気を誉めて頂けたことは、うれしくありがたく思いました。

《校長 犬塚 博志》

★貴志南小学校では、ホームページを設けています。<http://www9.wakayama-wky.ed.jp/kishiminami/>

※写真等は児童個人を特定できないように配慮しています。